

池田記念美術館
IKEEDA ART MUSEUM
イケビふれあい通信
8月号
H28年 No.73

真夏の太陽に照らされた八海山から入道雲がわきあがり、天高く、大きく広がっていく光景を見たいときは、イケビカフェが一番！

☆ ☆ ☆ ☆ ☆

◆地元の名石・八海石

夏の恒例となりました八海山夢展。今年は137点の作品が出品されています。

その中に水石部門というのがあります。水石(すいせき)は、床の間などに石を飾って鑑賞することで、石に台座をつけたり、砂を敷いた水盤に配置して飾ります。床の間で掛け軸や盆栽などと一緒に飾って、石を島や山など自然の風景に見立てて楽しみます。本来の飾り方とは異なるかもしれませんが、夢展では、ガラスケースのなかで、書道の作品とともに展示しています。展示は実行委員を中心に出版者が行いました。石の形から、流れをよんで、書とのバランスを考えて配置するところに、技とセンスが光り、華道や絵画の



水石と書が並び、落ち着いた空間を形作っています

構図とも通じるものがあると感じました。

夢展で展示される水石は、水無川など八海山から流れる川から採取される石で、八海石と呼ばれています。全国的に有名な名石で、全国から愛石家が来館されます。ぜひご鑑賞ください。(広田かおり)

◆両刃の剣 パート2

活性酸素は生命活動で必然的に人間の体内に蓄積してしまいが、それを取り除いてくれる頼もしい存在もあるという。抗酸化物質といわれる酵素だ。人間の体内で作られるSODやカララーゼなどが代表的なものらしい。SODの体内濃度と動物の寿命を比較した研究によると、体内濃度が多いと、比例して健康長寿のようだ。他に食物などに含まれるものもあり、ビタミンC、ビタミンE、βカロチンやポリフェノールなどおなじみの名前がつづき、日常的に我々が食べている多様な食品に含まれている。

分子生物学に基づく分子栄養学の発展で、スカベンジャーと呼ばれるこれらの抗酸化物質の研究が進み、様々なタイプの活性酸素に対応できることがわかってきたようだ。

「電子ドロポ」の活性酸素に攻撃されてから細胞が病的なガン細胞になるには少し時間がかかるようだ、日常的にスカベンジャーを含む栄養を摂取していれば、予防という観点から長期的な病気に対する備えができるのかもしれない。これらのこと、体内でのタンパク質生成メカニズムから考えあわせて「メガビタミン主義」が生まれたようだ。それに

しても、ほどよいビタミンは必要不可欠のようだ。(岡西英孝)

◆夏が来た！

この原稿は7月中旬に書いているのですが、梅雨明けしたかのような暑さです。6月下旬からせみが鳴いていたのには驚きました。公園の池に水しぶきをあげながらアヒルや鴨が気持ちよさそうにダイブをしています。ほんの少し涼しさを感じます。

そして、今年もやってきました。夏祭りの季節！ テンションが上がりますが、娘も中学生になり、友達との約束が優先、和太鼓部も卒業してしまつたため、少し寂しい祭りです。それでもやはり、お客さんが来たり、子供と祭りに行けない寂しい母親同士で約束したりと、なにかしらの楽しみもあります。友達は「浴衣でも着る？」と誘ってくれましたが、娘からあつさりダメ出し。即、却下されてしまいました。

近所の神社の境内に毎年お店を構えるおでん屋さん。このおでんを食べると、祭りだなあーと思います。3日間食べても全く飽きないおでんで祭り気分を味わいます。(山口加奈子)

◆松江を訪ねて

松江の小泉八雲記念館がリニューアルされた。その記念式典に参加しました。全国各地から関係者が集まり、新しい記念館の前途を祝福しました。八雲自身の松江滞在は1年余りですが、松江藩士族の娘・セツさんと結婚したこともあり、八雲会を中心に顕彰・研究活動が活発です。松江在住の曾孫・凡さんが記念館の館長を務め、妻の祥子さんと一緒に奮闘しています。国宝に指定された松江城にほど近い、濠沿いの旧武家屋敷通りにあるので、出雲旅行の折にはぜひ訪ねてください。

記念式典の翌日、宍道湖の湖畔に、城を囲

むように広がる松江の街を何時間も歩き回りました。寺社を拝観したり、かつては賑やかだったろう商店街のレトロな建物を見たり、飲食店が軒を連ねる通りを歩くと、おぼろですが、松江の地理がわかったような気になりました。ですが、まだ見学できなかった箇所がたくさんあります。今度はゆっくり時間をかけて旅行するつもりです。(高橋良一)

◆書道講座のご案内

4月から来年3月まで毎月一回「書道講座—基礎から展覧会出品まで—」を開催しています。紙や筆などの道具選びやテキストの話から始まり、楷書、行書、草書と書き進んできました。皆さんが集中力を高め、真白い紙に筆を運ぶ瞬間の緊張感が伝わってきます。会場は墨の香りに包まれ、その緊張感が癒されるように感じられました。

参加者からは「できない所を簡潔に教えてもらい、なるほどと思った」「テキストを使うので練習の身がわかりやすい」「自分の生徒に教えるときの指導の仕方を見つけた」「いろいろな書き方をやるので次に何をやるか楽しみ」などの感想をいただきました。希望の回だけの受講や見学もできます。8月は27日(土)午前10時から隷書の練習になります。ぜひご参加ください。(佐藤良子)



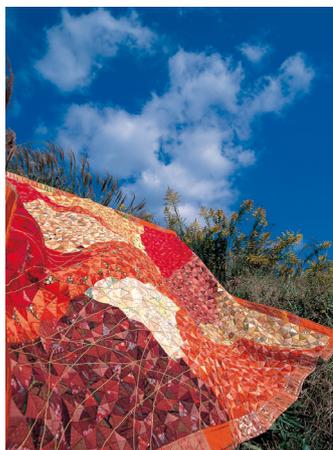
講師は佐藤海雲氏。随時、受講生を募集しています

キルト展開催にあたって

菊池登美子

東京都内の百貨店でパッチワークキルトに出逢って35年。その場から動けなくなり、鳥肌がたった衝撃と電気が走ったような感動は、今でも昨日のように思い出され、胸がドキドキします。翌日から訳も分からぬまま、ただただ縫い続け、やればやるほどキルトの奥深さに感動しています。特にアンティークキルトに大きな影響を受けた私は、ヨーロッパやアメリカ、カナダの労作を訪ね歩き、先人の多くのキルトの労作に触れ、出逢ったたくさんのキルトからいろいろなものを学びました。今では「キルトは私の生きる原動力」と言い切れるまでになりました。

故郷の新潟に戻り、2回目の作品展を池田記念美術館で開催させていただきました。一昨年に夫が他界し、なかなか新しい作品に取り組みずにおりましたが、今回の開催を機に、また前を向いて創作活動を再開することができました。キルトに魅了され、キルトに翻弄され、キルトをこよなく愛するひとりの女性の作品を数多くの方に見て頂きたいと思っております。作品展を開催して下さる池田記念美術館の皆様へ感謝申し上げます。(キルト作家)



菊池登美子作品「紅葉」

池田記念美術館 展覧会・イベント情報

■第17回 八海山夢展

◎1階企画展示室、2階日本・海外美術展示室 ◎期間：7月23日(土)～8月30日(火)
絵画・書道・写真・水石・俳句・工芸の6部門、約120人の展覧会。プロ・アマチュアを問わず、地元で根ざした美術活動の発表の場として創設され、今年で17回目の開催となりました。絵画・写真・書道・俳句部門は地元の美術家を中心に、魚沼にゆかりのある作品を展示。水石部門は八海山から流れる水無川の名石・八海石を写した作品と一緒に紹介しました。また、前回新設の工芸部門では、地元で制作された陶芸や木工・染織の作品を展示しています。

■キルト浪漫—菊池登美子作品展—

◎1階企画展示室、2階展示室I ◎期間：9月3日(土)～10月11日(火)

小千谷市にアトリエを構えるキルト作家・菊池登美子さんの個展。「世界のキルト作家100人展」や「日本のキルト20人展」に招かれ、「国際キルトウィーク展」などでも受賞経験がある実力派。日本の心を表現する作家として海外でも高く評価されています。

■ギャラリートーク 会期中の土・日曜日に開催します。

■ワークショップ「ピンクッションの制作」 ※参加料500円(別途入館料が必要となります)

9月18日(日)・22日(木・祝)、10月2日(日)・8日(土)

各回とも9:30～16:30(制作時間:約3時間)、先着順20人、裁縫道具持参

■8月の常設展 「小泉八雲展示室」「スポーツ文化展示室」「スポーツカード展示室」

※「八海山夢展」期間中、日本美術展示室は八海山夢展で使用します。

■昔ばなしを語るつどい—むかしあったてんがの—

◎1階多目的ホール ◎日時：8月7日(日)13時30分～14時30分 ※参加無料です

魚沼地域に伝わる昔ばなしを「魚沼昔ばなしの会」のみなさんが語り部となって紹介します。

【演題】おそめ、おけさの歌、長者林のお寺、ネズミの恩返し、人の寿命、みょうが宿、千羽鶴

■8月の書道講座 8月27日(土)10時～ 講師：佐藤海雲氏 8月の課題：隸書

◎音楽情報

■池田音楽クラブ「音を楽しむ集い」 ※参加無料です

8月28日(日)11:00～ 夏の詩(朗読とギター)

11:30～ 月例音楽会(ピアノ、フルート)

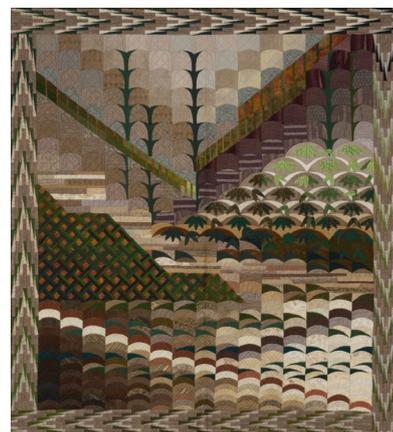
14:00～ フォークソングの日

年間パスポートが大人気!

料金3,000円で発行日から1年間有効。初回申込特典①入館招待券3枚、②イケビカフェで利用できるコーヒーチケット2枚をプレゼントします。



「八海山夢展」は8月30日まで好評開催中です



菊池登美子作品「織部色の風景」

池田記念美術館 南魚沼市浦佐5493-3 (八色の森公園内)
TEL 025-780-4080 / FAX 025-777-3815
【開館時間】9:00～17:00 (入館受付は16:30まで)
【入館料】一般 500円 高校生以下無料
【ホームページ】http://www.ikedart.jp

【8月の休館日】

※水曜日(3日、10日、17日、24日、31日)
※30日(火)は最終日のため15時閉館となります。